

読んでみませんか? ～新刊案内～

『七夕の月』

佐々木ひとみ/作 ポプラ社



東京から、ひいおばあちゃんの住む仙台に引っ越してきた和也は、夏休みの自由研究で、毎年8月に行われる「仙台七夕まつり」について調べることになりましたが…。

『40歳、初めてのお見合い』

大手小町編集部/編 ポプラ社



母が亡くなり、ひとりぼっちになった女性が、初めてのお見合いをすることになり、アドバイスを求めると…ネット掲示板で人気を呼んだ、ほのぼのとした6つのテーマの発言集。

おはなし会

- 8月 3日(日) 陵南の森図書館/中央図書館 14:00(こわいおはなし会)
- 8月 9日(土)、23(土) 羽曳が丘図書館 15:00
- 8月10日(日) 陵南の森図書館 14:00
- 8月13日(水) 東部図書館 10:30
- 8月16日(土) 古市図書館 15:00
- 8月16日(土) 陵南の森図書館 15:00
- 8月17日(日) 陵南の森図書館 11:00(小さい子向き) 11:30(少し長いお話を聞ける子向き)
- 8月10日(日)、24日(日) 中央図書館 13:30
- 8月24日(日) 陵南の森図書館 14:00(子どもといっしょにペープサート)

夏休み子ども1日図書館員

○中央図書館・陵南の森図書館 8月19日(火)～21日(木)のうち1日 定員各6人

○丹比・羽曳が丘・東部図書館 8月20日(水) 定員各2人

時間 13:30～16:30

対象 市内在住小学4年～6年生

申込 8月4日(月)10:00より募集先図書館にて受付。申し込みは本人、保護者限定。受付時に定員を超えた場合、初参加を優先。

朗読ボランティア入門講座

目の不自由な方向けの録音図書作成のための、朗読の基礎を学ぶ講座です。(全8回)

講師 朗読ボランティアグループ「はびきの」

日時 9月11日(木)～翌年1月8日(木)

第2・第4木曜日 10:00～12:00

場所 陵南の森総合センター

申込 8月5日(火)より陵南の森図書館にて受付(電話可)。※定員15人

こわいおはなし大会 (LICはびきの)

8月30日(土) 14:00(小さい子向き) 15:00(大きい子向き)

ちびっこサロン(市役所敷地内:森のゆうびんきょく)

8月13日(水) 10:30～ おはなし・おりがみなど

講演会「絵本の読みあいから見えてくるもの(LICはびきの)」

講師:村中 李衣氏(ノートルダム清心女子大学教授)

8月24日(日) 13:30～15:00 ※定員70人(当日先着)

夏休みの手作りあそび「ストーリー工作」(中央図書館)

8月17日(日) 13:30(5歳以上) 14:15(2年生以上)

※8/1より同館にて受付※定員10人、市民優先

今月の休館日 8月31日(日) ※月末日を除き、図書館は日曜・祝日も開館しています。

サラダボール

～インターネットの利用方法～

インターネットを介しての詐欺や人権侵害など悪質な事件をニュースとして目にする日が多い昨今において、69歳の独居男性の命を救った心温まる出来事がテレビから流れていた。

その内容は、ニコニコ生放送(ウェブカメラとマイクがあれば誰でも生放送を行うことができ、視聴ユーザーとのコミュニケーションもとることができ、サービス)を視聴していた男女のグループが、放送を流している男性のろれつが回らない状況に気づき、救助する様子を再現したものであった。男女のグループは、画面を通して男性の顔や様子は手に取るようにわかるのに、住

所や名前はわからない。救急車を呼ぶよう声掛けするも男性は応じようとしない。そのような歯がゆい状況が続くなかで、健康保険証を画面に近づけるよう説得した。男性が応じたことにより、画面から住所や名前を写し取り、当地の消防署に救急車の要請を行うことができた。男性はそのとき脳血栓になっていた。退院後に元気になった男性は、画面を通じて命を救ってくれた男女のグループに時折言葉を詰まらせながら感謝の思いを伝えた。インターネットが遠距離で名前のわからない男性の命を救った出来事である。

インターネットの利用は、住所や名前などにこだわらずに行政エリアを越えてコミュニケーションを広めることができる。社会的に孤立しがちな独居高齢者やひきこもっている人たちも社会につながることもできる貴重

な道具のひとつである。しかしながら、その利用方法が便利になればなるほど社会的影響は大きく、その根本には利用者の道德意識やヒューマンズムに依っているところを忘れてはならない。軍需用品として開発されたナビゲーションシステムが、今ではカーナビゲーションとして人々が便利で安心して目的地に着くことができるように利用されている。また、メールなどを送る際には、絵文字を活用して文字だけでは伝わらない感情も相手に伝えるように工夫している。インターネットの利用においては、その利用目的や利用方法をしっかりと自己点検しながら、人間としての尊厳を大切に利用していきたいものである。

はびきの しげんけんけいはつすいしんきょう ぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会